

新章開幕直前! カリブの海の英雄となれ



暗殺者一族の新たな伝説をつむぐ『アサシン クリード 4 ブラック フラッグ (AC4)』が発売!
暗殺者にして海賊という異色の主人公・エドワードとなり、雄大なカリブ海を冒険せよ

ASSASSIN'S CREED IV BLACK FLAG

アサシン クリード 4 ブラック フラッグ

PS4 PS3 11月28日発売(※1)

アサシン クリード 4
ブラック フラッグ

●ACT ●ユービーアインソフト
●PS3版¥7,770(税込)、PS4版¥8,820(税込※2) ※2:消費税5%での税込価格
●プロデューサー:MARTIN SCHELLING、クリエイティブディレクター:Jean Guesden

※1:PS3版のみ。PS4版は2014年2月22日発売予定。

キャラクターにアクション、
マルチプレイまで!

『AC4』の全要素を総まとめ

歴史の影で暗躍してきた暗殺者一族と、17~18世紀のカリブ海で暴れまわった海賊。この魅力的な2つの要素を結びつけて描かれる『AC』シリーズの最新作の発売日がいよいよ間近に迫ってきた。今回は、主人公のエドワードと、彼をとりまく登場人物たちを紹介。実在した登場人物については、史実における姿やカリブ海の歴史もあわせてお届けする。同時に、エドワードのアクションや、全世界のユーザーと戦えるマルチプレイについての新情報も公開!



▲略奪に向かう前に、部下たちを鼓舞するエドワード。その度胸と腕、カリスマ性を持って彼らを従えている。野蛮なところも多いが、荒くれ者ぞろい海賊たちを指揮する船長としては、このうえない資質といえるだろう。



アサシンの象徴たる
衣装を身にまとい……

◀エドワードとはある事件で、暗殺者一族伝来の衣装や武器を手に入れ、以降はその姿で行動する。彼が暗殺者の衣装を身に着けた理由とはいったい? 富と名声以外に、何か探しているものでもあるのだろうか?

美女との甘いひとときを
過ごすことも

▶美しい女性と一緒にいるエドワード。どうやらイギリス時代のワンシンのようだが、彼女はエドワードにとってどんな存在なのだろうか? 彼がカリブに渡って富を求め続ける理由にも、大きくかかわってきそう。



太古から続く暗殺者一族の血を引く男。イギリス人の父親と、ウェールズ人の母親の間に生まれる。自分の貧しい境遇に不満を持ち、一獲千金を夢見てアメリカ大陸へ渡航。私掠船の船

員として働き始めるが、とある事件をきっかけに海賊船・ジャックド一号の船長を務めることになる。頭脳明晰で腕も立つが、ときおり無鉄砲で命知らずな行動を取ることも多い。

ASSASSIN'S CREED IV BLACK FLAG
富を求める英国生まれの暗殺者 CV 津田健次郎

エドワード・ケンウェイ



EDWARD KENWAY

BENJAMIN HORNIGOLD



黄金時代の荒くれ者たちと絆を深める

本作で描かれるのは、黒ひげなどの有名な海賊たちがカリブ海で活動していた“海賊の黄金時代”と呼ばれる17世紀後半～18世紀初頭の期間。エドワードは海賊船の船長として、彼ら一流の海賊たちと対等に接する。なか

には協力関係を結んでともに戦う者もいれば、敵対する者もいるようだ。また、登場人物の大半が実在した海賊で、史実でも彼らの活躍が語られている。本作の物語と史実が、どのように絡み合うのかも気になるところだ。

ASSASSIN'S CREED IV BLACK FLAG
黒ひげと関係が深い温和な海賊 CV 日野 聡

ベンジャミン・ホーニゴールド

カリブ海で活動する有力な海賊の1人。スペインの王位継承を発端に起きた“スペイン継承戦争”が終わったあと職にあぶれた、イギリス海兵の1人だった。船乗りとしての熟練の技量を持つだけでなく、戦略を練る知恵もあり、周囲から信頼されている。エドワードとは彼がいち船乗り過ぎなところからの知り合い。ジャックド一号の船長になったばかりのエドワードに、海賊のやり方などを教えてくれる。



▲海賊としては先陣にあたるベンジャミンは、エドワードに喜んで海賊の流儀を教える。



▲ベンジャミンは海賊としては温和な性格。敵船の船乗りと説得を試みるなど、無駄な殺生は好まない。

CHECK 史実におけるベンジャミン
スペイン継承戦争ではイギリスの私掠船で活動。そのあとはカリブ海を根拠とする海賊となり、のちに「黒ひげ」と呼ばれるエドワード・サッチを部下に、主にフランス船を狙って海賊行為を行った。そのあとはサッチと別れ、海賊を取り締まっていたバハマ総督ウッズ・ロジャーズの部下となって海賊討伐に参加。多くの海賊をつけ狙った。

海賊の理想を目指す“黒ひげ”のカリスマ

▲エドワードに向かって、海賊としての生き方を語るサッチ。恐怖を持って相手を制するという彼のやり方は後世にも伝わり、黒ひげの名を世界中にとどろかせた。



恐怖と悪名を持って船員を支配する

▲導火線つきの帽子をかぶって相手を威圧する、サッチの逸話の1つを再現。火花を恐れず、すさまじい眼光で相手をにらみつける姿に、相手はこの上ない恐怖を感じるであろう。

黒い立派なひげをトレードマークに、世界中でその逸話が語られる最も有名な海賊。逆らう者には容赦せず、皆殺しも辞さない残忍なやり口で、カリブ海に悪名をとどろかせている。ベンジャミンと同じく、スペイン継承戦争のあとにカリブ海にやってきて、そこでベンジャミンやエドワードと知り合う。列強に支配されない、自由な国をカリブ海に作ろうと夢見て、彼らと協力関係を築いている。出身はイギリスで、自分の船には「クイーン・アンズ・リベンジ（アン女王の復讐号）」と名づけた。

CHECK 史実における黒ひげサッチ
スペイン継承戦争のあとで海賊になり、ベンジャミンの部下として働く最中にフランスの奴隷船を拿捕。ベンジャミンにこの船の指揮をまかされる。ベンジャミンとは海賊の船長として活動。北アメリカ大陸から西インド諸島まで活動範囲を広げ、暴虐の限りを尽くした。だが、ウッズ・ロジャーズの海賊退治でニュー・プロビデンス島を追われ、最後はイギリス軍艦パールとの死闘で落命。

ASSASSIN'S CREED IV BLACK FLAG
世界一の悪名を持つ大海賊 CV 廣田行生

“黒ひげ”エドワード・サッチ



EDWARD KENWAY

アドウェールが教える



カリブの海賊とその歴史
カリブ海を根拠に、略奪を繰り返して恐れられたオレたち海賊。歴史において、オレたちはどんな存在だったのか？ 副船長のオレが海賊たちの文化や歴史を解説してやろう。

STEP 1 世界の海で恐れられる海賊とは何か？

カリブの海賊を語る前に、まずは海賊の定義について知っておこう。海賊とは、武装した艦船で海洋を駆り、武力を持って航行中の船や沿岸の都市を襲撃し、略奪行為を行う集団のことだ。人類が国家を作るころにはすでに存在し、海を生活の場としている人々の脅威となっていた。歴史上に名を残すような有名な海賊も多い。本作では、そんな海賊の1つで、“バッカーニア”と呼ばれたカリブの海賊たちの姿が語られる。

世界史で有名な海賊たち

- 【海賊衆】**
中世の日本で活動した海賊で、志摩半島の九鬼氏などが有名。略奪よりも海上での警備や通行料で生計を立てた。のちに豊臣氏などの大名の水軍に転化。
- 【ヴァイキング】**
8～12世紀にかけて西ヨーロッパ沿岸を席巻した、北欧に住むノルマン人たちの海賊。略奪者のイメージが強いが、交易も行っていたようだ。
- 【バッカーニア(カリブの海賊)】**
本作で語られる海賊たち。大航海時代の末期である17～18世紀のカリブ海で活動した。主にヨーロッパからの逃亡者や、先住民が参加していたようだ。
- 【現代の海賊】**
海賊行為を行うものは現代にもあり、国際的な問題になっている。マラッカ海峡やソマリア近海に出没する海賊が有名。近代兵器も活用されている。

STEP 2 自由を愛する海賊たちの文化・風習

カリブの海賊は、王侯貴族による封建社会が成立していたヨーロッパ諸国からの脱出者が多かったためか、自由や平等を尊ぶ気風があった。また「獲物の横領を禁じ、船員全員で分け合う」「老人や子どもの捕

虜には乱暴しない」などの掟を決めて、破った者は誰であろうと厳しく罰した。無法者ながらも規律正しい集団だったといえる。そんな海賊に魅力を感じ、襲われた船舶の船員が鞍替えすることも多かったようだ。

サトウキビと海賊の関係

当時のカリブの島々には、大量のサトウキビが群生していた。これに目をつけた列強はここに大農場を作り、サトウキビから砂糖を生産して世界中に輸出。サトウキビ

を原料としたラム酒も大量に作った。海賊にとって、高値で売れる交易品の砂糖と、大好物であるラム酒の元となったサトウキビは、まさに天からの恵みだっただろう。



▲当時のカリブ海ではラム酒が大流行。海賊から一般庶民まで、多くの人々が酔いに酔った。



MARY READ

アンタにはここがお似合いだ、ケンウェイ。その衣装よりもな

▲赤いバンダナがトレードマークのメアリことジェームズ・キッド。右の頬にはいくつもの刀傷があり、彼女が多くを修羅場を潜り抜けてきたことを感じさせる。エドワードの服装に言及しているが、暗殺者について何か知っているのか?

頼もしい海賊として互いに認め合う

▶ 気安い態度で会話を楽しむエドワードとメアリ。海賊の同志として、2人の間には強い信頼関係が結ばれているようだ。



ASSASSIN'S CREED IV BLACK FLAG
男装の女海賊 CV 斎賀みつき

メアリ・リード

女だてらに男装をして、男の海賊に負けないほどの器量を見つけた女傑。エドワードや黒ひげたちと知り合いのジェームズ・キッドという名の海賊として登場する。海賊としての実力も高く、周囲からの信頼も厚い。海賊をしているのは、何か理由があるようだが……?



兄は神殿が暮らし。お宝があるって話だ

彼女が語る“宝”の正体は?

▲ 何かの宝について知っているそぶりを見せるメアリ。神殿や墓ということは、古代文明の遺跡のようなものが思い浮かぶが……。カリブ海周辺には、何かの秘密が隠されているのだろうか?

CHECK 史実におけるメアリ、アン、キャラコの関係

史実でのメアリは、ロンドンの船乗りの遺児として誕生。彼女の母は、幼いメアリを男として育てた。その理由は、彼女を跡継ぎにすることで、亡き夫の両親から仕送りを得るためだったという。成長した彼女は、男装の身を利用して軍に入隊。その過程で知り合った男性と結婚するが、夫はほどなく亡くなってしまふ。メアリは再び軍に入るが、男装が発覚して退役。富を得るため、西インド諸島行きの帆船に乗り込む。だが今度は、帆船がキャラコ・ジャック・

ラカムの海賊船に襲われてしまう。そこでメアリは、キャラコの部下となり、海賊として生きることを決意するのだ。彼女は、同じく男装してキャラコの船で海賊をしていたアン・ボニーと親しくなる。2人のコンビは、男の海賊すら一目を置く存在だったという。最終的には、キャラコの船が海賊狩りの船に捕まり、キャラコは処刑。メアリとアンも死刑を宣告される。だが、実際に刑は執行されておらず、2人のその後については詳しくわかっていない。



やあ、二輪船は何かだ。諸君、俺の名前はベンジャミンだ。彼らは陸軍の船員たち。我々も彼らと同じ

▲ベンジャミンも元は私掠船の乗組員。操船や略奪行為はお手のものだ。



ASSASSIN'S CREED IV BLACK FLAG
狡猾な若き海賊 CV 中西としはる

キャラコ・ジャック・ラカム

カリブの海賊たちが暴れ始めたころのジャマイカで生まれた、若い世代の海賊。“キャラコ”というのは愛称で、彼がインドやアジアで纏られた帽子や衣服を好んだのが由来だ。海賊のチャールズ・ウェインの船の操舵手として登場し、のちにその船の船長にのし上がる。



では、美しきア...



ASSASSIN'S CREED IV BLACK FLAG
強欲な海賊 CV 中村浩太郎

チャールズ・ウェイン

◀ 仲間の取り分までとってしまう強欲さを持つ海賊。海賊船の船長を務めていたが、彼の船より大きなフランス戦艦と遭遇し、攻撃しなかった臆病さを部下に攻められ、地位を追われる。

ASSASSIN'S CREED IV BLACK FLAG

海賊を狩るパナマ総督 CV であさまさき

ウッズ・ロジャース

▶ 私掠船の船長として活動したあと、イギリス王ジョージ1世によってパナマ総督に任命された男。海賊行為を止めた海賊には恩赦を与えて助け、止めない海賊は捕らえて処刑した。



イースト、上陸したの... 俺は海賊を止めるためのプロテ...



ASSASSIN'S CREED IV BLACK FLAG
美しき酒場の華 CV 高森奈緒

アン・ボニー

▲ カリブ海で活動した女海賊の1人として有名な女性。本作では、ニュー・プロビデンス島にある酒場で働くウェイトレスとして登場する。その美しさで、海賊たちからの誘いが絶えない。

ASSASSIN'S CREED IV BLACK FLAG
ジャックドー号の頼れる副官 CV 小松史法

アドウェール

とあるきっかけでエドワードと知り合い、ジャックドー号の副官を務めることになる黒人男性。もとは奴隷としてアフリカの農場で働かされていたが、農場が海賊に襲撃された際、海賊に協力して海に出る。頭がよくて知識も豊富。英語とスペイン語、フランス語を自在に話せる。



▶ 黒人が大きな差別を受ける社会から抜け出し、自分の能力を頼りに生きているアドウェール。エドワードにとっても頼もしい存在だ。

エドワードだ、お前には助けられた

...俺は人殺しは苦手なんだよ お前が倒伏すれば、血を流すこともなかった

▲ 黒ひげなど、支配に抵抗した海賊も多いが、各国の包囲網に徐々に追い詰められていく。

STEP 3 列強の思惑が生んだカリブの海賊の成り立ち

17世紀初頭、ヨーロッパの下層階級の多くが、一攫千金を求めてアメリカ大陸に渡った。その一部がスペインの支配するカリブ海の島々に移り住むが、生活は苦しく、いつしか彼らは海賊行為に手を染める。そ

んな人々に、イギリスが略奪行為を許可する“私掠免許状”を渡す。その理由はイギリスが、当時隆盛を誇ったスペインの勢力を削ぎたかったためだ。こうして多くの海賊が活発に活動することになる。

私掠船の始まりとその効果

私掠免許状は、16世紀ごろにイギリスやフランスが、船舶を所有する個人に向けて出したのが始まり。免許を持った船は“私掠船”と呼ばれ、略奪許可の対象は、免許

を出した国の敵対国の船に限られる。国家が自国の戦力を使わずに敵国の戦力を削げるのがメリットで、私掠船の利用自体は1856年のパリ条約で禁止されるまで続いた。

STEP 4 海賊たちの隆盛、そして衰退の理由

17世紀末期、スペインからある程度の優位を勝ち取ったイギリスは、用済みとばかりに海賊の取り締まりを強める。1692年には、海賊の拠点だったポート・ロイヤルが地震で壊滅したこともあり、多くの海賊が

海から去った。しかし、一部の海賊はニュー・プロビデンス島を拠点にして活動。ベンジャミンら海賊の首領たちは自らをニュー・プロビデンスの総督と名乗り、海賊共和国の創立を高らかに宣言した。

有名海賊たちの末路は……

海賊たちの動きに対して、イギリスは私掠船の船長だったウッズ・ロジャースを海賊取り締まりの責任者に任命。ロジャースは海賊たちを追い、次々に絞首台へ送る。さ

らに、1721年には「海賊取締法」が定められ、陸での活動を封じられた海賊たちの多くが捕らえられることに。こうして海賊たちの華やかな黄金時代は終焉を迎える。



暗殺者として、海賊としてカリブに挑む

本作では、主人公であるエドワードを操作して、広大なカリブ海とそこに点在する島々を冒険できる。エドワードは優れた暗殺者にして、海賊船の船長も務める男。ときには暗殺者としてターゲットを狙う。また、ときには船長として海賊船を駆り、略奪行為に手を染めることも可能だ。この2つの顔を使い分けて、エドワードはカリブ海での地盤を固め、富や名声といった自分の求めるものを手に入れようとする。ここでは、そのために役立つ戦闘での技術や、海賊として行えるさまざまな要素について解説していく。

雄大な海に乗り出し 海賊 稼業を楽しむ

本作ではジャックド一号に乗って、カリブ海を自由に航行できる。海では交易品や資材を乗せた船舶から略奪を行ったり、海洋生物を相手にした漁も可能。さらに、深海に沈んだ船舶に積まれていた宝を海に潜って回収する、なんてこともできる。ただし、海は天候が荒れれば高波や竜巻が発生。悪行が過ぎれば手配され、海賊専門のハンターに追われることに。こういった危険を極力避けるのも、海賊の仕事のうちだ。

ASSASSIN'S CREED IV BLACK FLAG

海戦 艦船を襲って金や資材を奪え



獲物発見!

望遠鏡を使えば、遠方の船舶を確認可能。望遠鏡をズームしたり、一定の距離に近づくと、船舶の所属や積んでいる積荷までわかる。これらの情報を参考に、襲撃する船を選択したい。

周囲の船舶を攻撃したり、こちらを狙う敵船と遭遇すると海戦に突入。敵船を撃沈するか、一定以上のダメージを与えたあとに乗り込んで制圧するか、距離をとって逃亡するまで戦闘状態が続く。基本的には、戦闘後に戦利品が得られる制圧が望ましい。戦利品は、砂糖やラム酒なら資金に換えられ、木材などはジャックド一号のアップグレードに使える。



集団戦闘で決着

部下とともに敵船に乗り込み、白兵戦を挑む。一定数の敵を倒せば勝利し、戦利品が獲られる。

大砲で攻撃したり、衝角をぶつけたりして敵船にダメージを与える。弱点が露出したら旋回砲を撃て。

海戦に挑め

あらゆる手段を駆使してターゲットを暗殺せよ

エドワードは、卓越した戦闘能力を持つ暗殺者で、その腕は歴代の暗殺者たちに勝るとも劣らない。「タカ目」などの特殊能力が使えるのはもちろん、敵に隠れて移動するステルス行動もお手ものだ。これらに加えて、剣と銃を駆使して戦う海賊の戦闘方法まで身に付けているのが、エドワードの最大の特徴といえる。暗殺者として、音もなくターゲットに近づいて倒すこともできれば、その戦闘能力の高さを頼りに正面から戦うことも可能。好きな方法で邪魔な敵を排除しよう。

ASSASSIN'S CREED IV BLACK FLAG

アサシンの技能 暗殺者ならではの特殊技能を駆使する

暗殺者一族は、高所から飛び降りて移動する「イーグルダイブ」や、常人の目には映らないものを見分ける「タカ目」といった特殊能力が使える。エドワードもこれらの特殊能力を利用して、敵からラクに逃げたり、敵味方の識別を行うことが可能だ。アサシンの技能に頼る場面は非常に多いので、何かに行き詰まったら試しに使ってみるといいだろう。



イーグルダイブ

下にワラ山や水辺があれば、この能力でどんな高所からでも安全に落下できる。タカなどの鳥類がいる場所はイーグルダイブが可能なので、目印にしよう。



タカ目

発動すると敵は赤、ターゲットは黄色、味方は青で表示される。エドワードが隠れる場所も淡く光るので、隠れ場所の探索にも利用可能だ。

ASSASSIN'S CREED IV BLACK FLAG

武器 多彩な武器で遠近に対応できる

さまざまな武器の扱いに長けているのも、エドワードの魅力の1つ。暗殺者一族伝来の暗器・アサシブレードをはじめ、二刀流の剣や銃などの多彩な武器を使って敵と戦おう。剣と銃については、

よろす屋で性能の高い武器を購入可能。所持金に余裕があれば、ぜひ買ってほしい。また、敵の目をくらます煙幕や、音もなく敵を攻撃できる吹き矢は所持数に制限があるが、よろす屋で補充可能だ。



吹き矢は敵を眠らせる「スリープダート」と、敵を混乱状態にする「バーサクダート」が使える。状況に応じて使い分けよう。

エドワードの武器

- ◆アサシブレード
- ◆剣
- ◆ピストル
- ◆煙幕
- ◆爆弾
- ◆吹き矢
- ◆ローブダート

ASSASSIN'S CREED IV BLACK FLAG

ステルス 物陰などに隠れて敵をやり過ごす

フィールド上にはワラ山や草むらなど、身を隠せる場所がたくさんある。暗殺を成功させるには、こういった場所を利用して、敵の目をあざむくことが必要不可欠だ。また、街中には群集があちこちに

おり、そのなかにまぎれることでも身を隠せる。ほかにも、敵兵を引きつけてくれる娼婦や、敵兵と積極的に戦ってくれる海賊などを雇って、エドワードの姿を敵の目からそらすことが可能だ。



隠れ場所から素早く暗殺!

隠れ場所で○ボタンを押すと口笛を吹いて周囲にいる敵をおびき寄せられる。あとはそばにきたところで□ボタンを押せば暗殺完了。この方法なら敵の死体も隠せる。

ASSASSIN'S CREED IV BLACK FLAG

漁 サメなどの海洋生物を狩る

豊かなカリブ海はサメやシャチ、クジラといった大型の海洋生物も住んでいる。これらの生物がいるポイントに近づけば、漁をすることが可能。漁は小船に乗って移動し、海洋生物に餌を投げて行う。餌

を使い切ったり、小船が大ダメージを受けると、海洋生物の体力が0になれば漁は成功。武器や道具袋のアップグレードに使える資材が入る。なお、イグアナなどの陸の生物も狩ることが可能だ。



餌を手にとり追跡

海洋生物に狙いを定めて餌で攻撃。餌が刺されれば相手の移動範囲を制限できるので、チャンスをつかえず餌を投げよう。

見事に獲物をゲット!

巨大な海洋生物を吊り上げる様は圧巻。これだけでも十分な達成感を味わえるうえ、さまざまな用途に使える資材が入る。

ASSASSIN'S CREED IV BLACK FLAG

潜水 海底に眠る宝を探し出す

カリブ海には、海底に沈没船などが沈んでいるポイントが無数にある。物語を進めて「潜水鐘」という道具を入手したあとは、これらのポイントに潜水して、海底のお宝を回収することが可能だ。水中では呼吸メーターが表示され、これが0に近づくとエドワードの体力が減少し

ていく。だが、近くに沈んでいる潜水鐘や、空気が吹き出るポイントに行けば体力と呼吸メーターを回復できるので、海底探査に有効利用しよう。また、海中には人を襲うサメの群れも出現。海底に生えた海藻や沈没船に隠れてサメの目をあざむき、海底の探索をなしとげよう。



エドワードは泳ぎが得意で、呼吸メーターも簡単には0にならないが、油断は禁物。潜水鐘などを拠点に周囲をじっくり探索して、目当てのお宝を集めよう。



マルチプレイの戦場で暗殺の腕を競う

ASSASSIN'S CREED IV BLACK FLAG

モード 対戦はもちろん協力プレイも楽しめる

「マルチプレイ」では、最初に対戦のモードを選択。多彩なルールが楽しめる「カスタムプレイ」と、ほかのユーザーと協力してCOMと戦う「ウルフバック」の2種類から好きなほうを選ぼう。また「ウル

フバック」では、プレイをしながら「マルチプレイ」のルールや戦いが学べる「ディスカバリー」もプレイ可能。初めて「マルチプレイ」をプレイするならば、これから挑戦してみたいだろう。



カスタムマッチ

好きなルールで暗殺合戦!

▲6種類のルールから1つを選んでプレイ。ターゲットの暗殺や陣地の取り合い、秘宝の奪い合いなども楽しめる。



ウルフバック

次々に現れる敵を協力して倒せ!

▲最大4人で行う協力プレイモード。味方と協力して課題をクリアし、最終シークエンスへの到達を目指す。

ASSASSIN'S CREED IV BLACK FLAG

特殊能力 暗殺に役立つアビリティや道具を使いこなせ

「マルチプレイ」限定で使える特殊能力には、煙幕やテレポートなどで相手を惑わせられる「アビリティ」と、投げナイフやピストルといった「飛び道具」、セットするだけでさまざまな効果が得られる「特技」の3種類がある。これらは、アビリティセットに組み込むことで戦闘で利用可能に。どの能力も、「マルチプレイ」を戦ううえで、非常に役立つものばかりなので、積極的に活用しよう。なお特殊能力は、最初は限られたものしか使えないが、対戦を繰り返してユーザーのランクを上げることで、新たなものが覚えられる。その種類は30種類前後もあるので、自分のプレイスタイルに合わせたセッティングを考えたい。



黄金爆弾

金貨をばらまきプレイヤーをあぶり出す

▲金貨の詰まった爆弾を投げるアビリティ。着弾点にばらまかれた金貨に群衆が群がり、人ごみに隠れていた敵の姿がまる見えになる。これでターゲットの位置を探ろう。



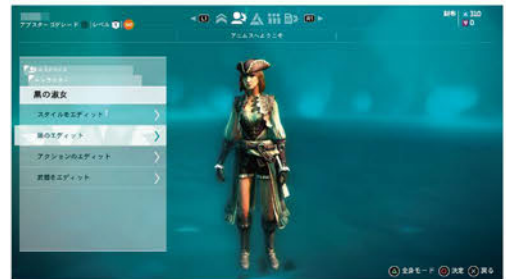
ピストル

▲飛び道具のピストルを使ってターゲットを攻撃。離れたところにいるターゲットも、これならあっさりと倒せる。ただし、発射音が大きく、ほかの敵に見つかりやすい。

ASSASSIN'S CREED IV BLACK FLAG

ペルソナ 好みの姿でプレイ

選べるペルソナは、海賊や商人、軍人といったさまざまな職業が用意されている。どれを選んでも基本的なアクションは変わらないが、フィニッシュのモーションは個別のものを見ることが可能。さらに、外見やモーションのカスタマイズも楽しめる。



▲ペルソナは服装を変えたり、アクセサリをつけたりできる。自分好みの外見にカスタマイズして、華麗な暗殺を決めよう。



変装

完璧な変装で群衆に紛れ込め

▲近くの群衆の姿に変装するアビリティ。敵が間違えた相手を攻撃したら、すかさず反撃に移ろう。変装するときと解除される場面を敵に見られないように。

ASSASSIN'S CREED IV BLACK FLAG

ルール 多彩なルールでカスタムマッチがさらにアツくなる!

カスタムマッチで選べるルールは、右の6種類。ユーザー1人ずつが戦う個人戦と、複数のユーザー同士が戦うチーム戦のどちらも楽しめる。これらの基本ルールに加えて、対戦のルール作りの際は、マップや参加人数といった細かいルールも設定可能。好きなルールで、白熱の対戦を楽しもう。また「クイックマッチ」を選べば、ルール設定をせずにすぐ対戦ができる。



▲アビリティセットは、各ルール用に設定することも可能。ルールごとセットをに組み直す手間が省ける。

遊べるルール一覧

ウォンテッド

各ユーザーが追跡者でありターゲットでもある個人戦。暗殺を達成するとポイントが加算され、最終的に一番多くのポイントを稼いだユーザーの勝利となる。ユーザー内の順位が高いほどターゲットにされやすくなり、難易度が上がっていく。

デスマッチ

基本的には「ウォンテッド」と同じルールだが、マップは狭くなっていき、また、「ウォンテッド」とのときにいた、ユーザーと同じ外見のペルソナがおらず、暗殺が達成しやすくなっているのが特徴だ。

アサシネーション

自分以外のすべてが暗殺ターゲットになる個人戦。ターゲット1人をロックすると、ほかのユーザーの情報が遮断され、相手もロックされたらすぐわかる画面表示が出る。そのため、通常よりも緊迫感のある暗殺合戦を楽しむことが可能だ。

マンハント

2つのチームに分かれて、追跡者となる攻撃ラウンドと、ターゲットとなる防御ラウンドを交互にプレイ。攻撃側は暗殺、防御側は反撃や潜伏でポイントが入り、最終的にポイントの高いほうの勝ちとなる。

ドミネーション

マップ上に点在する3つの拠点を占拠してポイントを稼ぐチーム戦。各拠点にはスコアゲージがあり、一定範囲内にいる敵方の数でゲージが左右に振れる。スコアゲージが優勢になるほど、得られるポイントも増え、勝利に近づいていく。

キャッチ・ザ・フラッグ

マップが2つのエリアに分かれ、それぞれのエリアに1つずつ置かれた秘宝を奪い合うチーム戦。ユーザーは自陣では攻撃側、敵陣では防御側になる。制限時間内に秘宝を持ち帰った回数が多いと勝利チームに。

PLAY IMPRESSION

ユービーアイソフトでマルチプレイを先行体験!

本誌の「AC4」攻略スタッフが、ユービーアイソフト社に潜入! 本作の発売に先駆けて、「マルチプレイ」を体験してきた。実際にプレイして判明した「マルチプレイ」の最新実を、いち早くレポート!

いくらやっても飽きがこない「AC」独自の「マルチプレイ」!

「AC」シリーズの「マルチプレイ」は初めてではありませんが、やっぱり何度やってもおもしろい! 多数のペルソナがうごめくマップのなかで、ほかのユーザーの視線に気をつけながら自分のターゲットを捜すというのは、まるでかくれんぼの鬼と子を同時にやっているような気分。マップを歩くだけでもドキドキが止まりませんし、うまくターゲットを倒せれば、ペルソナのカッコいいアクションが見れるのでテンション上がりまくりましたよ! まあ、達成感に酔っていたら、後ろからザックとやられてしまったわけですが(涙)。さすが相手もユーザー(というかユービーアイソフトのスタッフさん)、スキを見せたらすかさず攻撃されます。しかし、だからこそ常に緊張感のある戦いが楽しめるわけだ。あと、今回プレイして感じたのですが、周囲のペルソナがいきなり走ったり道を戻ったりと、まるでユーザーがするような動きを何度も行っていました。これは、ペルソナのAIが大幅に強化されたのでしょうか。「マルチプレイ」の熟練者でも、慣れないうちは間違えて攻撃してしまうかも。というか、自分なら間違える自信満々です! ……発売したらちゃんと練習しておきますね。はい。

“ルール有用”の暗殺合戦を極限まで楽しめよう!

今回は「デスマッチ」、「マンハント」、「ウルフバック」の3つをプレイさせていただきました。まず「デスマッチ」は、敵を見つけやすい&自分が見つかりやすいぶん、かくれんぼに鬼ごっここの要素が加わったような感覚。隠れるよりも走ってターゲットを狙うほうが優先という、スピード感のある対戦が楽しめました。順位も4位でしたよ! 4人中、ビリともいいますね(涙)。次の「マンハント」では、2対2に分かれてのチーム戦を行いました。攻撃側はガン攻め、防御側は息を潜めて隠密行動と、攻守でやるのがまったく違うのがおもしろいです。個人的には、隠れているだけでポイントがたまっていく防御側が好みでした。これぞまさに、かくれんぼの醍醐味ですね。近くに味方がいれば獲得ポイントが増えて、一緒に戦っている感覚が味わえるのもよかったです。自分のチームは負けましたけど(棒)。さ、最後に残った「ウルフバック」ですが、これは4人で協力して、次々に出現するCOMのペルソナを狩るというもの。制限時間が切れた時点で終了ですが、敵を倒してポイントを稼げば制限時間も増え、残りタイムを継続したまま次のシークエンスに突入する、という仕様です。COMは基本的に攻撃してこないで、ガンガン前に入る楽しみは味わえますが、しっかり敵を倒していかないとドンドン時間が経過して焦る。敵に見つかったら逃亡されますね。さらに、効率よくポイントを稼ぐには、味方が敵を倒したあとに、あまり時間を置かずほかの

敵を倒す必要があり、なかなか苦労しました。ですが、3戦目で操作に慣れてきたせいか、ポイント稼ぎはなかなか順調。4人でそれぞれのターゲットをロックし、一斉攻撃で倒す「シンクロキル」も達成でき、大量のポイントをゲットできました! それでも、最終目的であるシークエンス25への到達は達成できず……。ミスは少なかったのですが、やはり完全クリアは難易度が高め。ですがそれだけにやりがいがあるというものです。それに途中では、マップ上の宝箱に群がる敵を排除するというシチュエーションでのプレイも楽しめました。これは本作からの新要素で、ほかにも疫病を撒き散らす敵を素早く排除するなど、いろいろなバリエーションがあるとのこと。これらを含め「マルチプレイ」には、まだまだやり尽くせない要素が満載です。本編と合わせて、こちらもしっかり楽しみたいですね。(アツゴロウ)



真の暗殺者への道はまだ遠い……

▲相手が気づいたときには、すでに暗殺は完了している!! そんな暗殺者を目指して、日々努力していきますよ!